



## テュートリアル課題 燃える

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2012
号	S2
発行年	2012-10-17
URL	<a href="http://doi.org/10.20780/00031786">http://doi.org/10.20780/00031786</a>

2012年度 Segment. 2

課 題 No.4

課題名：燃える

課題作成者：生化学  
化学

萬野 純恵  
岡田みどり



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

シルクロードの番組を見ていた姉妹（姉は研修医、妹は医学部1年生）の会話です。長旅を終えたラクダのコブはかなりしぼんで見えました。

姉「ラクダのコブには何が入っているか知っている？」

妹「水じゃないわよね。脂肪かな」

姉「何のために？」

妹「エネルギーの元になるからでしょ？」

姉「だったら、グリコーゲンとかでもいいわけよね？」

妹「脂肪の方がいいのよ。きっと・・・？」

でもどうしてラクダは干涸らびないのかしら？」

姉「いいところに気がついたわね」

シート2

妹「長旅のあとのラクダの息って臭いんですって」

姉「人間だってごはんも食わずに運動したあとの息は臭くなっているわよ」

妹「二酸化炭素がいっぱいだから？」

姉「えっ？ 二酸化炭素に臭いは無いわよ」

妹「じゃ？、脂肪を燃やしたからかな??」

姉「燃やすって・・・。まさか、吸った酸素がそのまま二酸化炭素になって出てきているなんて思っていないわよね？」

妹「えっ？」